



妙教寺だより

第23号

平成19年8月15日

現世安穏

後生善處

南無妙法蓮華經



平成十九年
屋上土丁亥歲
盛夏

御盆の候、檀家の皆様方には、法華経に帰依し、お題目を語り、一人でも多くの人に「伝え」「弘める」ことによって現世安穏・後生善處の喜びを求めながら、日頃

七月十五日に十萬の聖僧を集めて百味飲食ととのえて母の苦は救うべしと云々。目蓮仏の仰せの如く行いしかばその母は餓鬼道一劫の苦を脱れ給いきと盂蘭盆経と申す経に説かれて候。

「盂蘭盆御書一七七三」

七月十九日(日)に十萬の聖僧を集めて百味飲食ととのえて母の苦は救うべしと云々。目蓮仏の仰せの如く行いしかばその母は餓鬼道一劫の苦を脱れ給いきと盂蘭盆経と申す経に説かれて候。

信行受持のお題目

日蓮大聖人様はご本佛の大慈悲を妙法蓮華経の五字に込めて、南無妙法蓮華経のお題目を「祈り・悟り・行う」三大秘法の題目信唱受持の易行を私達に授けられました。それを自分自身のものだけに止まらず、即ち、自分の行いが他の人々の心を動かす、自行化他のお題目であると云うことはご承知の通りであります。

特に、檀信徒としての本分を尽すため、諸行事のご奉仕など、信行受持を深められ種々の高配に対し、役員一同共々心から深謝いた

妙教寺第七世
元寇園教会第五世

順信院日薰

荒木英知

の信行生活に精進されていることでしよう。

ごあいさつ

し、暑中御見舞申し上げます。

お盆施餓鬼供養会

今般、お盆会の行事を迎えるにあたり、特に、来る八月十九日(日)、當山では盂

蘭盆施餓鬼供養会が奉修されます。皆様と共に、ご家族揃つてご先祖様へ積善の功徳を送り報恩のまことをささげたいと存じます。



法華経の原典 白蓮華

葉にあるように、親子の死別は月日が経てば経つほど

嘆きが深まるとき申します。

生、老、病、死の四苦のうちで一番の苦はなんといつても肉親の別れであります。家族の死は淋しくつらいものであります。それだけ肉親の情愛は暖かく心強くあります。特に親子のきずなは、昔も今も変わりません。親子のきずなはどんなに切ろうとしても切れることはありません。



『餓鬼草紙』より
(東京国立博物館蔵)

盂蘭盆会のいわれ

見たいと思い、修行を重ね、神通力を得て見ることのできた母親の婆は餓鬼道にあつて、あまりにもあわれな姿でした。目連尊者は嘆き悲しみ、何とかして母親を救いたいと思案しました。目蓮尊者の見た母親の姿は「倒懸の苦しみ」と申します。その餓鬼界にある衆生を救う為の法要が、聖僧に百味の飲食五薬を供養するという孟蘭盆会であります。この功德こそが、母の苦しみを救うものであり、その根本は法華経お題目の功德によるものなのです。目連尊者が法華経を信じた大善は、我が身が仏に成るだけでなく父母も仏に成ることができ、さらに上七代・下七代の子孫に到るまでも仏に成ると教示されています。

目蓮尊者は亡き母親の姿

法華経信仰の目的は言う



当山、盂蘭盆施餓鬼供養会

またなく「現世安穏・後生善処」であります。法華経という妙薬は病を治そうとする慈しみであり、日蓮聖人のご出現は慈悲心に基づくものであります。大慈は安樂を与え、大悲は苦惱を抜き去るものであります。お盆には、真心をこめてお題目を唱えて、ご先祖きまをおむかえ致し、親孝行のお經といわれる法華経で追善の真を奉げたいものです。

南無妙法蓮華経

平成 17 年度～平成 34 年度

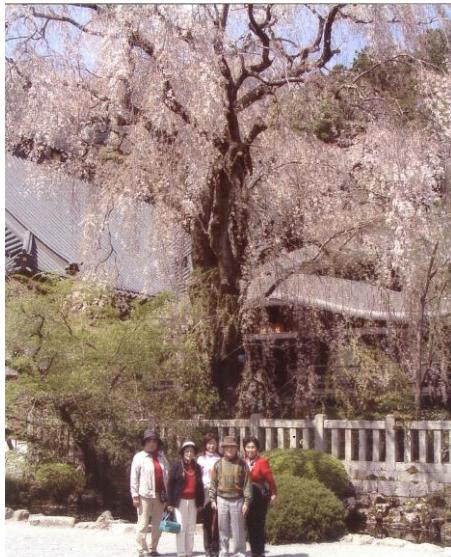
立正安國・お題目結縁運動

日 蓮 宗

“信行に生きる”

今年で八十歳に手が届く年
齢となりました。

ます。



身延山久遠寺のしだれ桜の前にて

妙教寺だよりが平成十九年一月に再刊されて檀信徒の皆様と共に受け取り、内容を喜んで読ませて頂きましたが、月日のたつのも早いもので二十三号の原稿締め

諸天始め両親兄弟の加護を受け、今まで数々の大病にも打勝ち健康に過ぎて来た事は、縁あって日蓮宗の信者となれた今日迄、日蓮大聖人の庇護のもと檀信徒の皆様、親兄弟援助の賜と感謝し、日々の中、六十

迷える人に道を教え進むべき道理を弁えない人には正論を！・と、共に学び二年間続いた身延山から清澄寺・誕生寺団参を毎年欠かさず実行させていただいています。



千葉県清澄寺にて

切りが近づき、今号は、何を書こうかとストーリーに手間取っています。

A photograph showing a group of people standing on a path or clearing. In the foreground, there's a low stone wall. Behind it, several people are standing and talking. A large, leafy tree is visible in the background, suggesting a park or a garden setting.

人間として此の世に生をうけ、生かされて来た私も

今後は、自分を始め他人をも褒めん事こそ諸天から授けられた経本だと考へてい

脳裏にやきつく思い出として大聖人のお膝元の身延山のしだれ桜、清澄寺の大聖人の銅像、誕生寺の鯛の浦遊覧、河口湖レジーナホテルからの夜明けの、日本一の山富士山の勇姿、一度眼

2021 年（平成 33 年）

宗祖日蓮大聖人御生誕 800 年

2028年（平成40年）

妙教寺開基開創 150 周年

妙教寺総代 松尾 勝次

“お寺様と私”

縁を持っている。体調をくずしているのは、そのお知らせです。」と、告げられたことを覚えております。



千葉県誕生寺にて

私が初めてお寺様に伺つたのは、まだ小学校高学年の頃だつたと思います。

その日は、体調をくずし、母に連れられてきました。

坊守様に風邪とりをしていただき、お経を唱えていたとき、元気になつて家に帰つてきましたことを思い出します。

坊守様と母がどんな話をされていたか小学生の私には解りませんでした。

にしたら一生忘れられない崇高さと、輝きが眼に焼きついて離れません。

又、東京都多摩区野川の両岸に咲き誇る桜の花も、日本で指折りの桜の名所でしよう。

信行する事により心身ともに健康で、菩提寺である妙教寺の益々の繁栄に檀信徒の皆様と信行に励んで行きたいと思います。

信行する事により心身ともに健康で、菩提寺である妙教寺の益々の繁栄に檀信徒の皆様と信行に励んで行きたいと思います。

それからも、何度も体調をくずし、お寺様に伺い風邪とりをしていただいておりました。そのうち初めて坊守様よりお話がありました。「勝次君、あなたは、お



会計報告をする松尾総代

南無妙法蓮華經

坊さんになつて罪の償いをしていかなければならぬ因

年が経つにつれお寺様のはからいで青少年育成よい

署中お見舞い申し上げます

平成十九年丁亥歳 盛夏

妙教寺 護持会会長

村 上 邦 三

子の会、発会を始め、林間学校、プラスバンド、勉強会、研修会への入会をさせていただき、お経を読みながら、規則正しい生活、思いやりのある心、お互いが助け合う心を学び、実践して行くことを教えていただきました。

その間は、今は亡き日貫上人を始め、日賢上人、坊守様、寺族の方々に大変お世話になり感謝致しております。そんな私は今では五十四歳、最初に坊守様より告げられた、お坊さんにならても罪の償いをしなくてはならないことの責任は果たしてはおりませんが、そんな私に、亡き日貫上人より、妙教寺総代という大役をいただき、このことが、お神様のご指導でお坊さんに成らなくても、成つたつもりでお題目の心を

もつて、お寺様や、檀信徒の皆さんのが為、働きなさい、と、ご指導をいたいたものと信じております。今後もこのご縁の為にも精進していく覚悟であります。

信行会 山口 枝折

“信行会に参加して”

お釈迦様のお話、花祭りのお話と随分と教えて戴きます。

お経も少しづつ覚えてきました、色々な事を教えていただいている、資料も沢山集まりました。

諸山にお参りしてきました。身延山に行きたかったのですが、友人と一緒でそう

護持会事業担当副部長 小林 稔



帰山報告式で加行僧による水行式
(左上、導師をされる英人上人)



信行会で写経をされる
山口さん

帰山報告式は県内外から大勢の僧侶の方々や、檀信徒の方々に見守られた中で厳粛に営まれました。

年二月十日迄、中山法華経寺で行われた大荒行を無事成満された圓頓寺の若上人の帰山報告式に、妙教寺からも三十五名の方々と一緒に参加させて頂き感激致しました。

ます信行会では、植村さんの奥さんから、親切丁寧にお経が今何處です、と教えてもらい感謝しています。

昨年十一月一日から今

はじめは、加行僧による水行式が行われ続いて力強いお経法楽加持をして頂き、式では行僧の紹介、いろんな

方々からの御祝の挨拶があり、続いて帰山奉告文では、

壱百日間は仏天のご加護を賜り修行の厳しさを顧みながら、無事帰山出来た事の感謝と、今後加行で培った精神力で法華経弘通の為頑張つていただきたいと思います、

と、挨拶されました。

口では壱百日とは言え、三時間の睡眠と一日二回の質素な食事、日に七回の水行と読経三昧そのような壮絶な苦行に鍛え無事成満。檀信徒の方々の喜びが、満ちあふれていきました。

私も何度も帰山式は経験させてもらいましたが、今回は、特別な思いでした。

自分の息子と年が変わらない為、何か自分の息子の様な思いで、成長された若上人のお姿を拝見した時に

は、感動致しました。

一つ残念な事は、昨年荒行に入行される時には元気な姿で見送つて下さいました祖父（恵海上人）が遷化され、この日を心待ちにされていた事を思うと残念だつたと 思います。

これからは、御上人（英知上人）の片腕となって圓頓寺の益々の発展に貢献される事を願っています。

このような素晴らしい帰山式に参加させて頂き有難うございました。

これから私も、お寺の護法護持の為にお役に立てるよう頑張つて参りたいと思ひますので宜しくお願ひ致します。

当山庶務 松尾 勝博

参加して”

昨年九月五日・六日の二日間の日程で、第二十三回

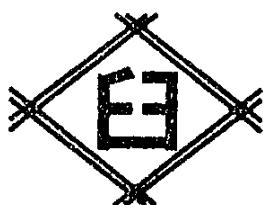
九州教区檀信徒研修道場に、御住職の計らいで参加してまいりました。



常在寺様本堂に集まられた
九州各県の檀信徒の皆さん

今回は、長崎県宗務所の担当で、大村湾に面した川棚町にございます、常在寺様を第一会場に、第二会場は宿泊先の国民宿舎くじやく荘に於いて講義と懇親会が行われました。

本年は、千葉県 常不軽寺御住職・赤堀正明上人を講師に迎え、現在、宗門では「立正安國 お題目結縁



早い仕事より確かな仕事、技術と信用の
(有)臼井組

建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9 Tel(092)932-7397

運動」を提唱し活動を行つており「なぜ今立正安國」をテーマに「立正安國論」の解説等を、二日間に亘つて三回の講義を担当していたただきました。

宗祖日蓮大聖人が御生

れになつた頃は、政治が疎かになり、貧しい国民が増え、大地震や干ばつが起つり、流行病等が広まり、正に末法の世でございました。そこで大聖人は、末法の世から安国の世に變えるには、法華經だつと悟りを啓かれ、「我、日本の柱とならん」「我、日本の眼目とならん」と誓われ、法華經を弘められました。後に幕府に「立正安國論」を獻上し、数々の法難に遭われながらも、法華經を弘め続けておられました。



常在寺様本堂前にて

私たちとは、大聖人とは、違う時代を生きておりますが、現在の日本の社会問題として、いじめ、又いじめを受ける事を苦にして自殺をする子供たち、低年齢層の殺人事件、オレオレ詐欺、少子化、數えきれないほどの問題を日本では抱えており、末法の世と化してます。だからこそ、「今立正安國」が求められるのです。

法の世と化していると私も感じとつてゐるしだいです。お釈迦さまが説かれた法華經を信じて弘められた大聖人、その大聖人を通して、私たちも法華經（お題目）に縁を頂いているのですから、私たちはそれぞれの立場で、法華經の為又、立正安國のため日々努力して行かなければならぬと思ひ、私自身、まずは、この「妙教寺」により「研修道場で講義を受けてきた、一言ではあります、皆様に、ひろめて、安国の世の中に早くなるよう願つて、書かせていただきました。

私たち、大聖人とは、違つてゐるが、現在の日本の社会問題として、いじめ、又いじめを受ける事を苦にして自殺をする子供たち、低年齢層の殺人事件、オレオレ詐欺、少子化、數えきれないほどの問題を日本では抱えており、末法の世と化してます。だからこそ、「今立正安國」が求められるのです。

法の世と化していると私も感じとつてゐるしだいです。お釈迦さまが説かれた法華經を信じて弘められた大聖人、その大聖人を通して、私たちも法華經（お題目）に縁を頂いているのですから、私たちはそれぞれの立場で、法華經の為又、立正安國のため日々努力して行かなければならぬと思ひ、私自身、まずは、この「妙教寺」により「研修道場で講義を受けてきた、一言ではあります、皆様に、ひろめて、安国の世の中に早くなるよう願つて、書かせていただきました。

今回このご縁を頂き、私の立場としての、再認識が出来たことを感謝しております。

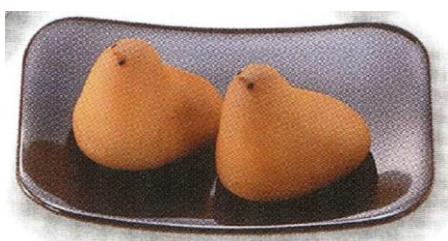
御祝い・法事など、また、ご進物・ご贈答に

ひよ子本舗 吉野堂 のお菓子を愛用下さいませ。

名菓 **ひよ** 大野城サティ店

大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ1階

TEL・FAX 092-592-2126



第三十六回海上施餓鬼 大法要に参加して

村上 外三



厳粛に営まれた西筑組寺院
各聖による施餓鬼法要会

当、春日山妙教寺からは、
御住職荒木英知上人、住職

西筑組門中会主催の海上
施餓鬼が今年も七月十九
日猛暑無風の中、玄界灘を
一望する佐賀県唐津市の唐
津シーサイドホテル別館「羽
衣」で約三百名の寺院、檀信
徒の参加のもと、開催されま
した。

妙教寺を出発し、本日の会
場の唐津シーサイドホテルへ
向かつたのであります。

唐津シーサイドホテルは

今度で二度目でありますが、

私の脳裏に深く焼きついて
おりますのは、本大会の発
起人であられた亡、日貫
上人様が十六年前、當時、
同ホテル本館の大ホールで、
西筑組門中寺院の代表とし
て「第二十回記念大会」で大
導師をお勤めになられたの
がつい最近の如く思われて、
その時のこと我が脳裏によ
みがえりました。

昼食後、午後の講演では、
島原市護国寺御住職、岩永
泰賢上人より、私達の信仰

夫人の特別御参加をはじめ、
総代役員、婦人会役員、一
般檀信徒、総数二十五名の
皆様方が、早朝七時頃から
妙教寺本堂にお集り頂き、
七時半諸天善神仏菩薩様
に御祈念を済ませ八時に、
チャータードマイクロバスで

妙教寺を出発し、本日の会
場の唐津シーサイドホテルへ
向かつたのであります。
唐津シーサイドホテルは
今度で二度目でありますが、
私の脳裏に深く焼きついて
おりますのは、本大会の発
起人であられた亡、日貫
上人様が十六年前、當時、
同ホテル本館の大ホールで、
西筑組門中寺院の代表とし
て「第二十回記念大会」で大
導師をお勤めになられたの
がつい最近の如く思われて、
その時のこと我が脳裏によ
みがえりました。

夢であつて良い、この壇上
に日貫上人、日賢上人様が
おられたらと思うと、眼か
ら涙がこぼれ落ちました。
本日の大法要も順調に進
み、有難い事に本日の焼香
も西筑組門中檀信徒の代表
として一番に指名され壇上
にあがり、私が一番尊敬の
念を持っていた日貫上人様、
日賢上人様に、現在の妙教
寺の檀信徒の状況を具に報
告することが出来ました。

又、元寇の役で殉難され
た彼我両軍の死者や、先の大戦での犠牲となられた
方々にも厳粛に成仏なされ
る事が出来ます事を祈念致
しました。参加された皆様
も私同様祈念された事と思
います。

合掌



海上施餓鬼大法要に参加された皆様

の根本となる「考え方」、「生き方」、「伝え方」についての
有り難い講話を頂きました。

自分だけの信仰でなく子孫
に正しく、時には厳しく伝
えていかなければならぬないと
感じながら、大会の終了を
迎えました。

この様な大会に元気で参
加させて戴いた事に深く感
謝の念を持つて筆を置きま
す。

役員紹介



法人 妙教寺修徒
高野 英一



法人 妙教寺執事
高野 英典



住職
代表役員
荒木 英知



總代・護持会副会長
事務局長・信行会会长
植村 俊親



筆頭總代
護持会会长
村上 還三



法人 妙教寺庶務
松尾 勝博



法人 妙教寺会計
尾城 富子



護持会広報部
白水 敏幸



總代
護持会事務局会計
松尾 勝次



總代
護持会事務局総務
白水 岩人



總代・護持会副会長
事務局会計
花田 正月



婦人会会长
古賀 静枝



婦人会顧問
信行会役員
谷 エツ子



護持会事業担当副部長
小林 稔



護持会事業担当部長
護持会会計監査
白井 義光



婦人会役員
手島 悅子



婦人会会計
樋口 美智子



婦人会副会長
船越 絹子



婦人会副会長
伊藤 邦枝



信行会会計
婦人会会計監査
高原 靖子



婦人会役員
小林 あけみ



婦人会役員
村上 英子



婦人会役員
村上 八重子



信行会役員
有岡 栄子



信行会役員
高野 スミ子



信行会役員
川迫 清子



信行会会計
藤目 久美

役員一同

護持会が新しい体制になり、早三年目を迎えた。い役員さんも増えました。私共、微力ではありますが大聖人の教えでもあります「異体同心」の心で、皆様方と共に、妙教寺の発展とより良い護持会会活動に努めて行きたいと思っています。今後も皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



乙金地区役員
白壁 由紀子



乙金地区役員
伊藤 タカ子

日蓮大聖人のおととば ②

報恩抄

日蓮が慈悲广大ならば

南無妙法蓮華經は万年の外未來までも
流布すべし。日本國の一切衆生の
盲目を開ける功德あり。無間地獄の

道をふさぎぬ。この功德は伝教。

天台に越え龍樹・迦葉にもすぐれたり。

極樂百年の修行は穢土一日の功德に
及ばず。正像二千年の弘通は末法の
一時に劣るか。これ偏に日蓮が智の

かしきにはあらず。時のしからしむるのみ。

(聖人五十五歳身延での著述)



故郷の墓前に向って回向せられる大聖人

一生の大半を法華經に捧げられた日蓮聖人にとって唯一の心残りは、世間的な孝養を充分に果たせなかつたことでした。しかし、御書で見られるように、常に父

房に対し、報恩感謝の気持ちを捧げ菩提を追悼するため執筆されたものでした。聖人は弟子を清澄に遺され道善御房の墓前でこれを読誦せしめられました。

大意としては、人間の行うべき根本の道として知恩報恩をあげ、なかでも法華經信仰こそ真実の報恩であることを述べられ、法華經の行者として報恩の大道を歩んできた自己の功德を旧師道善御房の御身に集まるこ

とを回向されている。

(高野 英典)

(「日蓮聖人御一代記」参考)

寺 宝 ②

蒙古調伏の旗曼荼羅

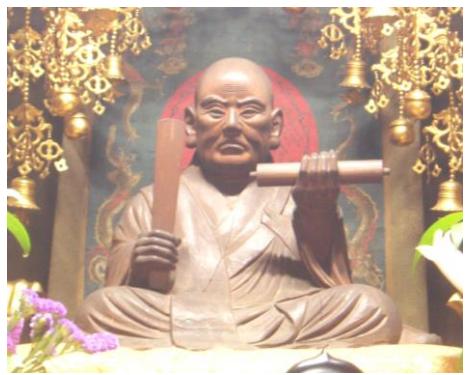
並に「日蓮聖人御尊像」

(元寇園教会安置)



元寇園教会の旗曼荼羅

適中し、文永十一年と弘安四年の一一度に渡り蒙古襲来を受けることとなりました。特に二度目の襲来となる弘安の役では、十四万の大軍が約四千五百艘の大船団となつて攻めてきました。「國が滅べば法を保つ人はいなくなる」と、かねてから主張しておられた日蓮聖人は蒙古襲来の報せを聞き国恩に報じるため自ら国難退散の祈祷を行い又、両面に月と日をしたため、四方に



元寇園教会に安置の日蓮大聖人像
(約たて 70cm、よこ 70cm)

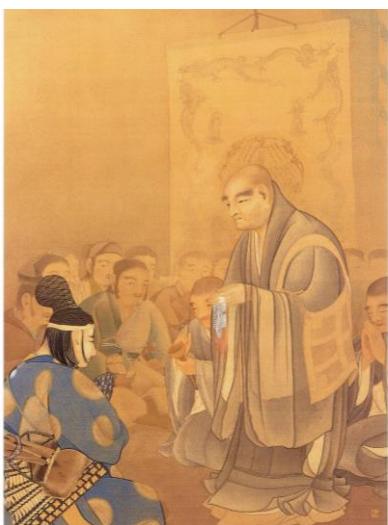
四大天王、八方に八大龍王を記した蒙古調伏の為の、旗曼荼羅を書き、弟子の武将「宇都宮貞綱」に預け、博多湾に臨ませました。その後、突如として神風が起きた。果して予言は

「日本國の敵である念仏や真言などの邪師は斬られず、なんの罪もない蒙古の使者を斬るとはまちがつてゐります。教会開設（昭和四十年）の折、時の信者「藤野とり」女より奉獻された

(高野 英典)

日蓮聖人は立正安國論の中で、一刻も早く國主も國民も信仰の寸心を改めなければ、いまだ起こっていない二つの大きな災難である、自己叛逆難と他国侵逼難に悩まされるだろうと、警告されました。果して予言は

「蒙古の敵である念仏や真言などの邪師は斬られず、なんの罪もない蒙古の使者を斬るとはまちがつてゐります。教会開設（昭和四十年）の折、時の信者「藤野とり」女より奉獻された



下村觀山作
「蒙古調伏曼陀羅授与之図」

又、日蓮聖人尊像は、妙教寺第五世順忠院日貫上人（英忠上人）の御師僧であられた、東公園銅像護持教会の第六世主管

を勤められた、唐津

法蓮寺第二十四世・田川天愼寺（池上本門寺別院）初代別当の藤山英燐（順信院日解）猊下より拝領した、木彫りの御尊像です。

信行会より

《仏事の豆知識》

“お仏壇の莊嚴”

① 新しい仏壇を購入したり、御本尊、日蓮聖人像、御守護神様等を勧請した場合は、必ずお寺に相談のうえ、開眼供養を行い奉安して下さい。

② 仏壇を安置する

・仏壇は大切に取り扱い、落ち着いて礼拝できる所に安置し、いつもきれいに掃除をしましょう。

③ 仏壇の飾り方

※ 日蓮聖人の御尊像・脇掛けは、お曼荼羅様と重複しますので必ず必要ではありません
・御本尊（お曼荼羅）は仏壇最上段中央正面に真っ直ぐません



参考図 一般的な仏壇の飾り方

に安置する。
・三宝尊像がある場合は、御本尊の前中央に置き、日蓮聖人像はその前に安置します。

・脇掛けは、向って右に鬼子母神様、左に大黒天様を掛けます。

・一番下の段に三具足（又は五具足）、香炉（線香立て）、燭台（ローソク立て）、花瓶を

お仏壇には毎日（朝食の前に）お茶・お水・御仏飯のお供えをし勤行をしましょう。お生花やお菓子・果物のお供物は、定期的に交換します。

・仏壇の莊嚴を図で示せば参考図のようになります。（ただし、仏壇の大きさ、形によつて異なります）

故人の命日や年忌・お盆やお彼岸などには、御靈供膳をお供えします。
わからぬ時はお寺へお尋ね下さい。 （高野英典）

・御先祖の位牌又過去帳は次の段の両脇に置きます。
・次の段に、仏飯、お茶、水、お供物用の高杯等を置きます。

心に香炉、両脇に燭台その外側に花瓶を置きます。
・経机に具足を置く場合は、ローソクの炎が仏壇の引き棚にかかるないように特に注意して下さい。火災の原因となります。（図参照）

③ お仏壇のお給仕

（講談社「お経」参考）

各院からたより



婦人会有志と檀信徒有志による
唐芋苗の植え付け（900本）

当教会に於いては、西方沖地震後少しづつではあります、境内の整備などがなされております。これも、皆様の御理解御協力によるものと、感謝申し上げます。

季節の野菜や果物を、様様な方にご指導を頂きながら作っております。



別院の剪定作業をされる
花田総代

又、雑草との戦いにも苦戦しております。農家の方の苦労が身にしみてわかります。それでも自分達の手で作った野菜は形は悪くても、わずかな収穫でも、御宝前にお供えさせて頂いて、又、檀信徒の皆様にお配りして喜んで頂くとそれも私共の喜びに変わります。

秋には芋掘りを予定しております、ぜひ皆様のご参加お待ち致しております。



お堂の中のお清正公様像

月第一日曜日、信行会終了後、午後二時頃妙教寺を出发してお参りしております。現在は、十五名ほどの方々がお参りされております。現在は、十五名ほどの方々がお参りされております。昨年の台風でお堂部分の屋根が被害を受けました。現在ビニールシートで応急処置をしております。近日中に、修復をしたいと計画しております。



境内地整備を頑張る植村総代



お参りの後住職上人を
囲んでの茶話会

近年、カラスの被害に加えイノシシやイタチ等も出没しはじめ困つております。

檀信徒有志の方々で、毎月第一日曜日、信行会終了後、午後二時頃妙教寺を出発してお参りしております。

お清正公様はお題目を仰ぐ者を「守護下さるお神様です」と仰ります。

《別院 元寇園教会》

《別院 三沢清正公堂》

檀信徒有志の方々で、毎月第一日曜日、信行会終了後、午後二時頃妙教寺を出発してお参りしております。現在は、十五名ほどの方々がお参りされております。現在は、十五名ほどの方々がお参りされております。昨年の台風でお堂部分の屋根が被害を受けました。現在ビニールシートで応急処置をしております。近日中に、修復をしたいと計画しております。

お清正公様はお題目を仰ぐ者を「守護下さるお神様です」と仰ります。

行事スナップあれこれ



1/8 各家勧請守護神祭及び
星祭り・福引き大会



1/1 新春祝祷会
甘酒の供養を頂きました



3/15 圓頓寺 第32世
一妙院日淳上人本葬儀



1/21 寒修行会
団扇太鼓を叩いて唱題行



7/19 海上施餓鬼大法要
献花をされる檀信徒さん



5/27 檀信徒総会
挨拶をされる住職上人



4/8 花まつり施餓鬼会
婦人会による花御堂作り



7/29 お盆前大掃除
皆様お疲れさまでした



7/23 頓写会
熊本本妙寺において



7/22 土用丑ぼうろく灸(施餓鬼会)
大変暑かったです

檀信徒投稿覧

春日・惣利地区 古賀 喜美代



住職上人賞が当った古賀さん

息子が高校時代に通学に使つていたもので十五年は悠に経つていて、骨董品だが愛着があつて大切に使つてきた。

これも御先祖様が『お寺に参つてきてくれて有難う』と、ご褒美を下さつた、そして、『これからもよろしく頼むよ』と、お願いされた感じだ。

今年は、正月から良い年になりそうだ、だが、これで、「一年分の福運を使いきつた」という事に、ならないよう努力したいと思う。

何かとくじ運がない私、

当たつてもティッシュやその他諸々で、最下位の物しか当たつたためしがない。それが、今年はどうした事か、最高賞を射止めた。それも、ずっと欲しかつた自転車である。現在私が乗つているのは、

あとがき

▼五月の連休に、熊本の方まで家内と一緒に山菜を採りに出かけました。早朝より出かけ、車で二時間ほどかかりましたが到着次第身

支度もそこそこに、早速、見渡す限り緑一色の野山を登つたり、下つたりと日頃の宣騒をはなれ、時のたつのも忘れここちよい汗を流しながら採取に没頭し、ある程度の収穫を得ることが出来ました。

昼食は室内が作つたおにぎりをぱくつきながら、ふと前面を見わたしますと、薄曇りの中でしたが、鳥帽子

岳をはじめ、阿蘇五岳からなる大仏の涅槃像が、壮大なパノラマとして雄然と横たわっている姿が目に飛び込んできました。

写真などでは、よく眼にしますが、新鮮な空気と見渡す限りの野山の中で、改めてその雄姿をまのあたりに見ますと、その雄大さ、莊厳さが目に焼き付けられます。

日頃は「千の風になつて」皆様を見守つてあるご先祖様に対し、年に一度の里帰りです。感謝の気持ちをそえて、真心をつくしてお迎えをしたいものです。

(編集副委員長 白水 岩人)

歴史の重みがひしひしと感じられ、気持ちのやすらぎや、心の和みなど何か得をしたような気持ちになりました。

帰りは、五岳の雄姿を思い出しながら、交通安全、マナーに十二分に気をつけ、無事帰路し、収穫した山菜は、阿蘇の香りをつけて、隣り近所におすそ分けをしました。

▼お盆を向え、檀信徒の皆様の家庭では、ご先祖様のお迎えなどで大変ご多忙な日々を送つてあると思いま

寸 言

妙教寺檀信徒の方の常識は最高である、三、四年前までは、施餓鬼会、祈祷祭の日ともなれば、朝市側の道路には、毎回七、八台の車が駐車していた、駐車違反で在るとお寺さんの注意により、駐車違反は無くなり、その代わり他の人が駐車違反を繰り返している、他人が止めれば二、三時間はと、思うのが人間の心情である、檀信徒さんは、駄目なものは駄目、上乗、上乗。上乗とは、「佛教」最上の教え!!大乗に同じ

住職の好意により、護持会が独立清算制を取り二年が過ぎ、総会も無事終了し、予算も増額できた。

上乗、上乗



今年正月に落書きされた本院の塀

が、又すぐ悪戯されると言つた、悪戯されたら、塗り替える、描く方か、塗り替えの方か、根気比べだ、今年の正月に描かれてしまった、先月塗り替えた、何時まで保たれるか。

樂、樂

圓頓寺若上人、日蓮宗でも特に百日間の修行は厳しさで有名な荒行(再行)を無事終了されて、帰山された。

上乗 上乗

此の所、梅雨に入つても、中々雨が降つて呉れない、九

正院日賢上人(順さつきが満開、若上人(順余念がなかつた。故人になられても、さつきは毎年綺麗に咲き乱れる其処に若上人が観える、清正公大神祇と共に妙教寺をお守り戴く

弁慶が刀狩りで六百九十九本成功し七百本めに、牛若丸に破れた、今場所直方出身の魁皇が七百勝を達成した。

上乗、上乗

温暖化にたいする太陽の黄色の中間色みたいだ、危険信号かな。

危険 危険

「菅原道真」のお言葉と同じ、主なしとて春をわするな。

悠 悠

池の鯉が又一段と元気、さつきも一段と綺麗に咲い

た護持会も盛ん、祈祷祭、

偉大 偉大

別院で、住職が暇を見つけては、日夜の菩薩行、檀信徒も其の度に、菩薩行、お祭りには収穫した野菜が檀信徒様にお持ち帰り戴く、

感謝 感謝

燃やす、正月行事に、どんど夜、子供のころわらを座敷わらじが出てくる、どんど夜があつた、どんどとは、

藁に關係している観たい、

上乗、上乗

中々雨が降つて呉れない、九

州南部は、大雨、霧の中の太陽も、霧に吸収されて、太陽光線も、交通信号の、赤、

黄色の中間色みたいだ、

危険信号かな。

危険 危険

志で塗り替えた、観ていた人

施餓鬼会も盛ん、盛 盛 NHK朝のドラマで、どんど晴れが放映されている、

座敷わらじが出てくる、どん

ど夜があつた、どんどとは、

座敷わらじが出でくる、どん

ど夜があつた、どんどとは、

座敷わらじが出てくる、どん

平成十九年行事予定（八月～十二月まで）

◎八月五日（第一日曜）	・月祈祷祭（十時より）	◎九月三十日（第五日曜）	・各家勧請守護神祭	◎十一月二十一日（第四土曜）	・総供養の為の餅つき	◎十二月二十三日（第四木曜）	・年末煤払い大掃除 午前九時より
午後より	三沢清正公堂大掃除	午後より	秋季彼岸	施餓鬼供養会	早朝より	午後一時より	午前九時より
◎八月八日～十五日（水～水）	・盂蘭盆棚経廻り	◎十月七日（第一日曜）	・月祈祷祭（十時より）	◎十一月二十七日（第四日曜）	・年末総供養施餓鬼会	◎十二月二十八日～三十日（金～日）	・正月お供えの為の餅つき
早朝より	孟蘭盆施餓鬼供養会	お会式法要会	午後一時より	午後一時より	午前四時より	（正月四日曜）	午前四時より
◎八月十九日（第三日曜）	・孟蘭盆施餓鬼供養会	◎十一月四日（第一日曜）	・月祈祷祭（十時より）	◎十二月二十七日（第四木曜）	・正月お供えの為の餅つき	（正月四日曜）	午前四時より
午後一時より	午後一時より	午後一時より	午後一時より	午後一時より	午前四時より	（正月四日曜）	午前四時より
◎九月一日（第一日曜）	・月祈祷祭（十時より）	◎十一月四日（第一日曜）	・月祈祷祭（十時より）	◎十二月二十七日（第四木曜）	・正月お供えの為の餅つき	（正月四日曜）	午前四時より
早朝より	秋季彼岸棚経廻り	午後一時より	午後一時より	午後一時より	午前四時より	（正月四日曜）	午前四時より
◎九月二十九日（第五土曜）	（第五土曜）	◎十一月一日（第一日曜）	（木～水）	◎十二月二十七日（第四木曜）	（金～日）	（正月四日曜）	（正月四日曜）
早朝より	月施餓鬼供養会	午後一時より	午後一時より	午後一時より	午前四時より	（正月四日曜）	午前四時より
◎十一月十六日（第三日曜）	（午後より）	（午後より）	（午後より）	（午後より）	（午後より）	（午後より）	（午後より）

〒816-0935

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二十七号

春日山妙教寺

○九二(五八一)二二六六

《御靈屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい莊厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※くわしくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山妙教寺 092-581-1266